

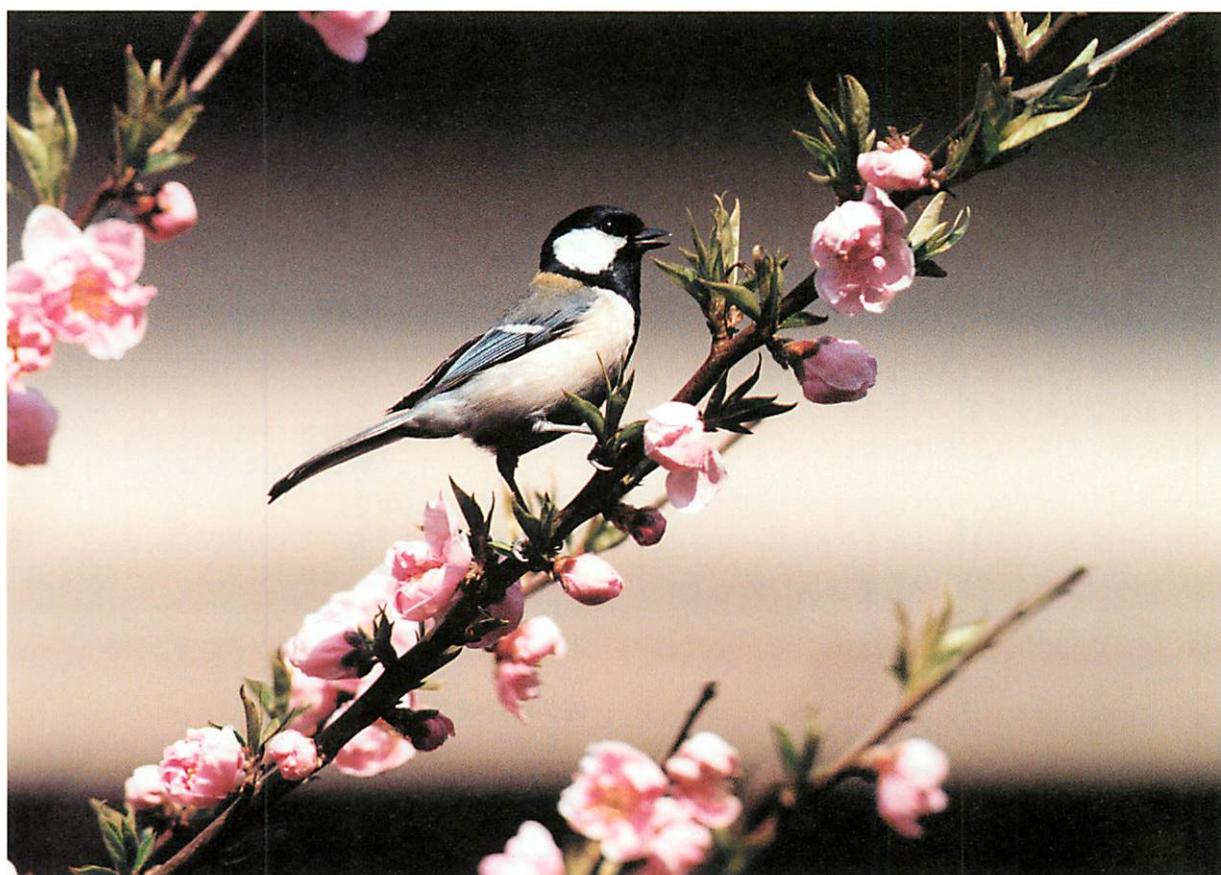
# Stage Up

2002年

3

月号

生涯学習情報誌  
ステージ・アップ  
通巻 No.108



写真：「ときめいて」（シジュウカラ）有田政一さん撮影（幸区のさいわい緑道にて）

- もくじ**
- 2** 特集 中高生によるミュージカル
  - 4** 生涯学習ア・ラ・カルト
  - 6** ぐるーぷ BOX / いま地域で学校で
  - 7** まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 歌壇
  - 8** イベントパーク

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団  
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1  
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085  
ステージ・アップ直通 TEL 044(733)5811 E-メール: [stage-up@kpal.or.jp](mailto:stage-up@kpal.or.jp)

## 特集 中高生によるミュージカル

♪そこがいいなって…ほくを忘れないで。ありがとうこれまで、またいつかどこかで…♪という歌で幕を開けるミュージカル「言葉は風に乗って」の公演が3月下旬、多摩市民館で行われます。演じるのは「チューインガム過激弾」。多摩区に住む中学生と高校生を中心としたミュージカルユニットです。このユニットは多摩市民館自主事業「音楽劇をつくろう」の参加者の中から一昨年誕生しました。同館では、10代の思いを歌やダンスで表現してもらおうと、平成11年度に初めて「音楽劇」を企画・公演し、大きな反響を呼びました。

3年目の今回、半年前の公募に高校生8人、中学生6人が集まりました。うち4人が3度目、7人が昨年に続いての参加です。10月からはワークショップ（体験講習）が行われ、演技や身体表現に磨きをかけました。台本が完成した1月からは舞台づくりに拍車がかかり市民館通いが続いています。

彼らと向き合う大人は、「商品劇場」を主宰する演出家の大岡淳さん、振付家でダンサーの南村千里さん、作曲家で音楽パフォーマンス集団「ダた」の国広和毅さんなど20代から30代の芸術家。また、衣装は地元の「登戸ドレスメーカー学院」副院長の栗田佐穂子さんとボランティアグループが協力します。

舞台づくりは悲喜こもごもの共同作業。50回以上の練習をつみ重ねて本番を迎える中学生・高校生から、参加のきっかけや制作途上で感じたことなどを伺いました。

多摩市民館自主事業「音楽劇をつくろう」

チューインガム過激弾第2回公演「言葉は風に乗って」

◆日時 3月30日(土) 17時開演  
3月31日(日) 14時開演

◆会場 多摩市民館大ホール

◆整理券 上演協力券として、大人(18歳以上)…500円  
中・高校生…300円 小学生以下…無料  
整理券の取り扱いは多摩市民館受け付けにて

問い合わせ ☎044(935)3333 同館

### ●チューインガム過激弾ホームページ●

<http://blue.ribbon.to/~chewinggum>

……………「言葉は風に乗って」ストーリー……………

文字を持たない国・パンガン王国と、文字を持つ国・ワバラク帝国。隣り合った二つの国が、とうとう戦争を始める事に。力で勝る文明国のワバラクは国境線を突破し、パンガンへの侵略を始める。危機的状況に立ち向かうパンガン王宮の指導者たち。降伏か、全滅か。しかし、そんな戦争のさなかにあっても、女王の次女・マシュリ姫は歌を歌う事を忘れなかった。果たして少女マシュリは王国の危機を救う事ができるのか…。21世紀を生きる全ての人々に贈るファンタジー・ミュージカル。



## 多摩市民館生まれ かがやく10代



### 出演者の声

#### 箕輪美樹さん(中2)

私の夢は舞台などに立てる仕事につくことです。今の自分の場所をここだと思える場所にしたかったので、はじめて応募しました。少し前は練習中も他の人としゃべったりしていましたが、役が決まってから一秒一秒を大事にしています。

#### 佐久間勝徳さん(高3)

2度目の参加。以前から演技や歌・ダンスに興味がありました。前回の「放課後の国のアリス」には友人に誘われて出演、初舞台で自分の実力のなさを痛感しました。今度はできるだけ努力しようと練習に臨んでいます。

今回、聴力に障害のある南村千里さん(ダンス指導)と出会い、少し変わりました。今まで障害のある人に対し、どうしたらいいかわからず避けていた部分がありましたが、千里さんと接していくうちにそういう不安が減り、今では手話も覚えおしゃべりが楽しみになりました。

#### 広沢麻実さん(中2)

昨年の公演をみて自分も“作る側”として参加したいと思いました。今ではここがかけがえのない場所になりました。自分には「無理そう」と思っていた事も、練習を重ねるうちにできるようになり、「やればできる」ことを体感しました。ミュージカルは、みんなの心を一つに束ねた目には見えないステキなものを、目に見えるようにしたものだと思います。地元に住んでいますが、初めて多摩市民館が建っていることのすばらしさを感じました。



## 「チューインガム過激弾」 響きあう個性



### 高橋優香里さん (高1)

今回初参加。日常、怠惰な空気に包まれていて「このままでは何か大切なものを失うのでは…」と思い、半ば勢いで申し込みました。ワークショップを通して、普段何気なくしていること、例えばドアの開閉とか、自動販売機で飲み物を買うとかの動作を意識的に行うのはむずかしいと感じました。日々が新鮮に思えるようになりました。

### 木村真紀さん (中2)

昨年ミュージカルに参加してとても楽しかったのでまた参加しました。何でも「できない、できない」でやってきたけど人間やればできると思いました。学校へ行っていなかったのでここが私の居場所。人の前に出て話しが出来るようになりました。恥ずかしがり屋がなおったかな…。ダンス、歌、演技のうまい人がそれぞれいてすごいです。

### 岡安慶子さん (高1)

昨年の公演を見て参加。私の知っていた世界は狭かったと思いました。ちょっと違った角度から見た世界を知る事ができました。この数カ月の間に、自分と違うもの(人、感覚、意見)を前よりも抵抗なく受け入れることができるようになったと思います。

### 藤川源太さん (高3)

3度目の参加。最初は友だちに誘われて参加しました。達成した時の感動が忘れられなくてまた参加します。最初の頃に比べて少し自信がつかしました。

### 渡邊愛さん (高3)

今回2回目の参加。日常の一つひとつの動作を「演技」という表現にのせるとむずかしいことに気づきました。メンバー全員から影響を受けています。以前よりほんの少し自分の意見を言えるようになりました。

### 一ノ瀬皐月さん (高2)

今回で3度目の舞台。大岡先生が演出するので参加しました。私は「最近の若者」と、ひとくりにされたくない。若者たちを「それぞれ自我が芽生え、個々が成立している人々」と定義したい。若者は未知の世界が多いので挑戦する事ができる。失敗しても許される事が多い。だから17歳のいま、何もできない自分でも、生きて何かに挑戦する。ミュージカルを成功させる事に全力を注いでいます。

### ●総合監督を務める演出家の大岡淳さん (31歳) の話

ここに集ってくる子は志が高いので、こちらが気が抜けませんが、毎回いろんな発見があります。このミュージカルの出演者は、ただ言われた通りに演じるのではなく、ワークショップを通して一緒に創っていく仲間でもあります。「言葉は風によって」の台本は最終的には私がまとめましたが、ベースはみんなが稽古で表現してくれたことや、話し合ったことの中からヒントを得ています。ダンスも、先に振り付けがあってその通りに動くのではなく、自分たちでアイデアを出し合い動いてみて、南村さんからアドバイスをもらう、という作り方をしています。等身大の視点から出発しながら、日常から飛躍した次元をも表現しようというのが今回のファンタジー・ミュージカルの課題ですね。

昨今、地域文化づくりの一つとして市民参加の演劇やミュージカルの公演が各地で行われています。このような舞台芸術は参加した青少年にどんな影響を与えるのでしょうか。劇作家で、元文化庁文化政策推進会議演劇専門委員の小川信夫さんに話を伺いました。小川さんは、昨年9月に行われた「かわさき21ヤングミュージカル」の実行委員長でもあります。

### 舞台を創る過程で成長する子どもたち

#### 小川信夫さんの話

「舞台は観るものから参加するものへ」というコミュニティアートとしての音楽や演劇が各地に広がっています。特に歌あり、ダンスあり、芝居ありのミュージカルは、祭のような要素があり参加しやすく、共感の場を作りやすい面があります。舞台は、一つの世界を創ることです。そこは自分の思うように行かないことが当たり前の世界で、希望どおりの役になれるとは限りません。悔しい思いをしたり、自分よりも優れている人をねたんだりすることもあるでしょう。そういう心持ちと自分自身が向き合い、葛藤し克服していくことで子どもは大きく変わります。学校や家庭とは違う雰囲気の人や異年齢の子どもと、汗や涙を流し一緒に練習するうちに強い連帯感が生まれていきます。さまざまな体験を通して得た成感感、一人ひとりの胸に刻まれ生きる力となるのです。

青少年のミュージカルは結果も大事ですが、創り上げる過程に、さらに大きな意義があると思います。

## ●まなぶ●

## 平成14年度第1期 プラザ陶芸教室 受講者募集!

土の香りを楽しみ、自分を見つめ、粘土と遊んでみませんか。

- ◆手びねりコース(水) 4月10日～6月26日  
毎週水曜(除6月5日、6月19日)全10回、13時半～16時
- ◆手びねりコース(土) 5月11日～7月27日  
毎週土曜(除7月6日、7月20日)全10回、13時半～16時
- ◆ロクロコース(水) 4月10日～6月26日  
毎週水曜(除6月5日、6月19日)全10回、9時半～12時
- ◆ロクロコース(土) 5月11日～7月27日  
毎週水曜(除7月6日、7月20日)全10回、9時半～12時

【対象】18歳以上、ロクロコースは手びねり経験者

【定員】手びねりコース各15人、ロクロコース各10人

【費用】手びねりコース 22,000円(材料費・焼成料込み)  
ロクロコース 28,000円(材料費・焼成料込み)

★申し込みは官製はがきに、「プラザ・○○○コース○」と明記し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、手びねりコース(水)、ロクロコース(水)は、3月22日(金)まで、手びねりコース(土)、ロクロコース(土)は、3月29日(金)までに〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1生涯学習振興事業団学習事業室「陶芸教室」係までお送りください。

アカデミーの運営に市民各層の意見を反映させるため、第IV期市民委員を公募いたします。定員は10人です。

## かわさき市民アカデミー運営協議会 市民委員を募集

【対象】19歳以上の川崎市民(現会員の方を除く)

【期間】平成14・15年度(2年間)

★申し込みは往復はがきに住所・氏名・年齢・電話・簡単な応募の動機を記入し、3月29日(金)までに〒211-0064川崎市中原区今井南町514-1川崎市生涯学習プラザ「かわさき市民アカデミー事務局」宛お送り下さい。

## ◆◆◆ 記念講演のお知らせ ◆◆◆

かわさき市民アカデミーでは、修了式と入学式の後に行われる記念講演を一般公開します。どなたでも無料で聴講できます。(先着70人)。会場は川崎市生涯学習プラザ401会議室です。事前に下記へお申し込み下さい。

第9回修了式記念講演 3月9日(土)11時～12時20分

「時代潮流の中で我々は今何を考えるべきか」

講師 寺島実郎・三井物産総合戦略研究所所長。米国勤務等を経て現職。著書に『正義の経済学』ふたたび他。

第11回入学式記念講演 4月6日(土)11時～12時20分

「人と自然との共生」

講師 鷺谷いずみ・東京大学教授。専攻は農学生命科学。著書に「生態系をよみがえらせる」他。

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

## 生涯学習ア

## ●たのしむ●

スポーツ教室のご案内

## ＜大人のための健康体力づくり＞

スポーツをする楽しみは、健康の保持増進、体力の向上やストレス解消と人それぞれです。日常の生活の中にスポーツを積極的に取り入れ、リフレッシュしましょう。お友達を誘い合わせて参加してみませんか。

【ヨガ教室】

4月16日～6月25日の毎週火曜(除4月30日)全10回  
時間は14時～15時半。受講料は5000円(保険料含む)

【エアロビクス教室】

5月7日～7月9日の毎週火曜 全10回  
時間は10時～11時。受講料は5000円(保険料含む)

★各教室とも、会場は生涯学習プラザ、定員は40人

★申込みは、往復はがきに教室名・住所・氏名・年齢・性別・☎を記し、4月3日(水)必着で、〒211-0064中原区今井南町514-1(財)川崎市生涯学習振興事業団スポーツ事業室へお送りください。(超過の際は抽選)

☆健康体操教室を4月13日から毎週土曜(除祝日)午前に行っていますので、関心のある方は問い合わせください。

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

## 川崎市子どもの権利に関する条例—その10

## 学校教育推進会議

## —子どもの参加と開かれた学校づくり—

学校教育推進会議は「子どもの権利条例」にうたわれている「第4章子どもの参加」の第33条(より開かれた育ち・学ぶ施設)の中の「定期的に話し合う場」という機能と、国が設置を求めている「学校評議員」という機能とをあわせ持ったものとして置かれたものです。

ふたつの機能に共通した目的は、より一層開かれた学校づくり。学校(園)が教育目標や計画、行事などについて説明し委員の意見を聴く中で、学校運営をよりよく、より開かれたものにしていこうとするものです。

学校教育推進会議は、校長によって委嘱された子ども、保護者、地域住民、教職員、その他の方などによって構成されます。子どもを交えた全体会を基本としますが、校長と個別の委員による話し合いなど、様々な形での話し合いが展開されます。

13年度は試行期間として取り組みましたが、学校や幼稚園の現況について校長の率直な話が聞けたり、子どもの率直な意見表明があったりと、たいへんに有意義な話し合いが展開されました。14年度からは市立学校の全校(園)で施行されます。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

## ラ・カルト

## ●はぐくむ●

青少年創作センター  
スプリングコンサート

「創作」とは物をつくることだけにとどまらず、幅広い意味を持ちます。子ども達の豊かな人間形成には、物づくりだけではない総合的な創作体験が大切だという視点から、「青少年創作センター」では、あまりかたにこだわらず、関心のある子ども達に体験の機会を与える催しも行っています。

今回は3月24日(日)15時から「スプリングコンサート」を開催します。演奏を聞くだけでなく、ピアノ演奏と共に歌える参加型コンサートです。参加は自由、当日直接創作センターのホールにおいでください。ホールいっぱいに響く楽しい歌声が、春を待つ桜の木々にも伝わるかもしれません。

問い合わせ 青少年創作センター ☎044(911)1510



クリスマスコンサートではハンドベルを体験

## ●さがす●

## 新しい学び始めませんか

新年度を間近に控え、新しい講座などの参加募集が行われています。季節的にも生活のリズムを切りかえる絶好の機会、新たな学習生活をスタートさせませんか。

市内42カ所に設置されている利用者端末「ふれあいネット」には、各種の生涯学習情報が入っています。この中の「講座・催し物情報」は、文化、スポーツ・レクリエーションなど多彩で魅力的な学習情報を提供しています。また、あなたに合った講座が簡単に探せるよう、ガイドパネル『ふれてみましょう「ふれあいネット」』もそばに用意してありますので是非ご活用ください。

\*「ふれあいネット」に入っている情報は、施設利用者カードを持っていなくても利用できます。

問い合わせ 学習情報室 ☎044(733)6250

## ハート &amp; ハーモニー Vol.20

## 「健康日本21」本当の課題

21世紀最初の10年の国民健康づくり政策として打ち出されているのが「健康日本21」です。自治体と国が生活習慣病対策を中心に9つの領域で、まず2010年までに達成すべき数値目標と、実現に向けた計画を立てるのですが、素案段階で厚生労働省の「成人喫煙率を半分にする」が財務省の反対で消滅するなど、前途洋々とは言えません。果たして国民の広い支持はあるのでしょうか？

健康日本21のイメージは「個人の健康開発」を「環境の改善」と「地域社会の共同活動」によって推進する、というもので、坂道（環境）を丸い玉（健康）を押して上がる（豊かさ）人と、それを後押しする人々（地域）の絵が描かれています。しかしこれでは「人生は重き荷を背負いて長き道を行くが如し」という徳川家康の遺訓（後世の作という説が強い）を思い浮べてしまいます。明るい将来を楽しみにする健康のイメージには合いません。

私は、トルストイが再話したロシア民話「おおきなかぶ」がふさわしいと思っています。畑に育ったおおきなカブを、みんなが力を合わせてよいこらしよと抜く話で、カブが抜けやすいように土を掘るモグラでも加えれば、健康づくりのイメージにぴったりではないかと感じます。より多くの人々が興味と関心と、期待を持って参加するのが、健康づくりの最初に目指す方向だと考えます。

健康政策は、多くが病気対策の裏返しです。豊かな健康のイメージを持たないままに、病気になりかけの「半病人」を意味不明の「半健康人」と言い換えてみても、何も改善は期待できません。現代社会で問題になるのは、「わかっちゃいるけど…」という反応しかしない健康に背を向けている「反健康人」対策です。これには個人の「意識を変え」たり「努力をうながし」たりする、従来の方は通用しません。お勧めしたい保健行動を選びやすい環境を作り、損得勘定に訴えてでも望ましい方向に誘導することのできる社会の仕組みを構築することが必要です。これは、健康意識の高い人にとっても居心地のよい社会を作ることです。

たとえばタバコ対策で、カナダのように1箱1000円とすることは未成年が手を出せない価格であり、また自動販売機を無くすことはニコチン依存症の人が禁断症状を我慢しやすい環境を提供する助けとなります。こうして半病人とその予備軍を減らすことが、目に見える政策として実現できるのです。

「健康日本21」の本当の課題は、「イメージ」と「社会構造」の改革です。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

## ぐるーぷBOX

## 写真で感動を伝える

## 「竹の子会 写真研究会」

スクリーン上に美しく紅葉した木々が映し出されると「いいね」「きれい」とあちこちから声があがります。「竹の子会 写真研究会」(橘川兼蔵代表・会員数23人)の例会のひとつです。同会は宮前市民館で開催された成人学校の写真教室の受講生により、平成4年に結成された写真を楽しみながら勉強する会です。

撮影にはリバーサルフィルムというスライド用のポジフィルムを使います。被写体は風景や植物が多いようですが、特にテーマは定めず、各自自由に撮影してきます。例会では現像したリバーサルフィルムをスクリーンに投影し、成人学校以来の講師である吉田力夫さんに指導していただきます。吉田さんは「山茶花、いい色ですね。この影がいい」と講評したり、皆さんの個性や好みを生かしながら「露出オーバーにしてほかしたらどうでしょう」などと技術的なアドバイスも。自宅の窓から見慣れている風景も、アングルや撮影方法によっては素晴

らしい被写体になることや、走る車の中から何気なくシャッターを押したら、色が流れて思いがけない美しい映像を作り出していたり、という発見が毎回あります。

春と秋の野外撮影会や、年に1度開催する作品展を通じても会員同士の親睦を深めています。

会員の声「主人の遺品のカメラを生かしたくて写真を始めました。先生の助言や皆の意見はとても参考になり、腕が上がったように感じます」。

◆活動日：原則として毎月第2・4木曜の13時半から

◆場 所：宮前市民館

◆連絡先：☎045(902)9069の橘川さん



## いま地域で学校で

## 後世に引き継ぐ伝統行事

## 橘小学校で「どんど焼き」

小正月の伝統行事、「どんど焼き」が1月14日、高津区千年の橘小学校(前田英雄校長、児童数890人)の校庭で行われました。昔から親しまれていた行事でしたが、都市化に伴う場所などの事情で、長年途絶えていました。千年町会長の木嶋眞一さんをはじめとする地域の方々から「どんど焼きを復活させて、子どもたちに伝え、この

地域をより身近かなものに…」という熱い思いから昨年、30数年ぶりに復活し、今年で2回目になります。

好天に恵まれた当日の昼過ぎ、同校を訪ねると、すでに千年町会の役員さん、消防団員の方々約60人が、集まり準備をしていました。各家から集まった門松、しめ縄、しめ飾り、破魔矢、書き初めなどが手際よく仕分けられていく傍らで塔(セイの神)が組み立てられていきます。モウソウ竹を芯にして、わら、竹、木の枝、集まった正月のお飾りを周囲に張り巡らしていきます。高さ約15メートル、円周20メートルの壮大なものでした。

14時半、校庭に集まったのは子どもたち、地域の人たち、その数800余人。町会長さん、校長先生のあいさつの後、塔の下方に点火。炎は、みるみる高く燃え上がり、時折モウソウ竹の割れる音がパーンと響き、塔が炎を上げながら崩れていく様は壮観でした。

やがて炎がおさまり、残ったおき火で枝や竹に刺したお餅を焼いて食べながら「このお餅を食べると病気しないんだね」などと話し合っている親子の光景に微笑ましさを感じました。「子どものころを思い出し、懐かしかった」など、地域の人々の声も聞かれました。前田校長は「きょうのどんど焼きの感動が、つよい郷土愛を育てていくと思います」と語っていました。



まち・ひと・多面体

心豊かな時間と空間を

「しまりすミュージックホール」山口昌子<sup>あつ</sup>さん

麻生区にある王禅寺ふるさと公園から徒歩5分、静かな住宅街の一角に「しまりすミュージックホール」があります。ここでは、ピアニストの山口昌子さんが自宅の改築を機に「普段のくらしの中で音楽に触れ合う場にしよう」と、1999年9月にオープンさせたものです。入ってまず目を引くのは丸太を多用した壁面。ベーゼンドルファー製のピアノが置かれた約35平方メートルの音楽専用空間は、木のぬくもりに満ち安らぎを与えてくれます。

山口さんはオープン以来ほぼ毎月、テーマを設け6日間連続の「演奏週間」を開催、クラシック中心にさまざまな音楽を紹介してきました。時には、フルート・オーボエ・ファゴットの奏者と一緒に「音だけオペラ・魔笛」を企画・演奏するなど、異彩を放っています。

伺った日は「ベートーヴェン週間」の1日で、ベートーヴェンの生涯や人物を紹介する「おもしろ音楽講座」。山口さんは図や資料を使って数々のエピソードを披露。合間に、彼が11歳の時に作った曲や影響を受けた音楽家の曲を演奏したり、19世紀ごろのピアノと現代のピアノ



の音を聞き比べたりと、趣向を凝らした内容でした。

山口さんは「なじみのある曲だけでなく、知られていない名曲も紹介していきたいと思います。ここにいらしてくださった方々と、音楽を通して心地よい時間と空気を共有できたらと願っています」と話していました。

春の催しは、3月5日(火)～10日(日)「ピアノ・ピアノ週間」～ソロから八手連弾まで▽4月2日(火)～7日(日)「ジャポニズム週間」▽5月14日(火)～19日(日)「フランス週間」の予定です。いずれも有料。問い合わせは☎044(988)9188/Fax(988)0972。麻生区王禅寺東3-38-24。

◆ホームページ <http://www.shimaris.com/>

くらし百景

歌壇

現代短歌 たちばなの会

- |                                 |       |
|---------------------------------|-------|
| おしやぎりの華やかなりしか此の夏も亡き母のゆかり瀬波羽黒に   | 伊井 文子 |
| 病と酷暑に疲れし我をすすきの穂やさしくゆれて心なぐさむ     | 今中 霽子 |
| 亡夫と来て歩みし湖畔にひとり立つクイーンズタウンは只に美し   | 柏木 良子 |
| おばあちゃんの手は大きいねと孫が言うしわと染みとの手に手を重ね | 川内嘉枝子 |
| どんぐりを踏みしめながらふと思う鳥は何処かで見ているかしら   | 川津 廣子 |
| 眼帯のとれて窓辺に立ちて見る明るき街に心ときめく        | 河畑 幸枝 |
| 孫の声はずんで聞こゆチャッカリとカギ開けたらしお見事お見事   | 小堀 味子 |
| 石だたみ垣根をかざる草花の色もとりどり行く秋惜しむ       | 高橋 房子 |
| 幾星霜廻りつづくか悲しみの器となりて蒼き地球は         | 野島 寛子 |
| 足もとの危くなりし兄に添いなつかしき道語りつつゆく       | 野村 照子 |
| 早朝を新聞くぼる若者のおはようひとつ心にみちる         | 深沢 雪子 |
| 蚊帳知らぬ幼と茎を裂きてをり草の遊びの滅び寂しむ        | 保坂 登代 |
| 三峰は躑躅山吹まんさくとまほろばの里亡君の住みあむ       | 蒔田 好子 |
| 米寿まで苦勞つづきの姑なれど笑顔の奥のこわさもさらなり     | 松本 敬子 |
| 秒針と同じ速度のわが脈拍時に乱れて今日は先行          | 宮川 良子 |

※当会は平成元年宮前市民館において、青井史先生(現代歌人協会所属)を講師にお迎えして発足、会員一同作歌研鑽に手を携えて参りました。常に新しい息吹を求めて新人会員に門戸を広げております。

代表 保坂 登代

情報コーナー **イベントパーク** 講座・コンサート他

●地域在宅の精神障害者支援チャリティーコンサート

3月2日(土)15時開演、会場は宮前市民館大ホール。出演は瀬木貴将&ネイチャーワールド、木野雅之(ヴァイオリン)。南米音楽の演奏を。前売り3500円、当日売り4000円。☎03(5237)9990のチケットぴあ、☎(777)7080の有泉さん。

●ランチタイムコンサート～ヴァイオリンとピアノ

3月20日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。曲目は「ムーンリバー」他。出演は肥田与幸(ヴァイオリン)、小泉亜希子(ピアノ)。無料。☎(222)8821の文化財団。

●市民ミュージアム企画展～明治の版画

3月31日(日)まで。故岡道孝氏のコレクションを中心に明治の版画、印刷を展覧。一般700円、大高生500円、中学生以下と65歳以上は無料。☎(754)4500。

●廣重名所江戸百景展

前期は3月4日(月)～20日(水)、後期は4月2日(火)～20日(土)。場所は砂子の里資料館。廣重の版画約50点を展示。無料。10時開館。日曜、祭日は休館。☎(222)0310。

●はがねの変相～金沢健一の仕事展

4月7日(日)まで、岡本太郎美術館。鉄やステンレスを素材にした彫刻約60点を展示。一般700円、高大生500円、中学生以下と65歳以上無料。9時半開館。月曜と3月22日(金)休館。☎(900)9898。

●ミニ画廊スナック琴①木版画展②水彩画展

①3月4日(月)～16日(土)。版木会の風景作品他。②3月18日(月)～30日(土)。吉田栄治の静物画。展示無料。☎(544)0507。

●講演「アフガニスタンから見えてくること～国際ボランティアにできることは何か」

3月9日(土)14時から、川崎市国際交流センター。講師は谷山博史・日本国際ボランティアセンター事務局長。無料。定員先着100人。☎(435)7000の川崎市国際交流協会。

●シンポジウム「外国語教育は英語だけでいいのか～多様な言語意識を可能にするために」

3月23日(土)14時から、会場はお台場区民センター。パネリストは森住衛・桜美林大学大学院教授他。一般1000円、学生500円。2歳以上の託児あり、16日(土)までに予約。☎03(3203)4581の日本エスペラント学会。

●第5回川崎糖尿病市民講座「糖尿病の予防と進展予防」

4月6日(土)13時から、川崎産業振興会館。講師は小花光

夫・川崎病院医師と大野敦・新川崎病院医師。質疑応答、健康食品や器具の展示も。定員300人、当日直接。無料。☎045(474)0361のノボ ノルディスク ファーマ

●簿記1級能力検定準備講座

4月4日～7月4日の月・木(日曜2回含む)の18時15分から、全27回。場所は労働会館。先着35人。受講料26400円、教材費8000円。☎3月17日(日)9時から☎(222)4416。

●東芝科学館①わくわく実験ショー～視覚と錯覚②ガリレオ工房科学実験教室～生かそう太陽エネルギー

①は3月9日(土)。目や脳のメカニズム、錯覚による不思議な現象を解説。②は3月23日(土)。太陽の光と熱の実験。時間は①②共10時と13時半。定員①各250人②は小学4年以上各50人。要予約。無料。☎(549)2200。

●川崎市民プラザ春の短期水泳教室

3月26日(火)～30日(土)8時から、全5回。対象は5歳から中学生。受講料5000円。定員先着100人。☎プラザフロントで。☎(888)3131。

●川崎市民プラザ趣味の教室受講生募集

4月開講のアートフラワー▽ジャズダンス▽茶道▽水彩画▽書道▽ストレッチ健康体操▽油絵▽日本画など24講座の受講生募集。入会金3000円、月会費4000円。先着順。☎3月1日(金)よりプラザフロントで。☎(888)3131。

●玉川大学公開講座

3月以降開講の「生き物ウォッチング」「博物館学」「小児救急法講座」「みんなで歌いましょう」などの受講生を募集。詳細は☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●第9回アリン祭～学校と地域を結ぶ民族文化祭

3月17日(日)13時から、労働会館。小中高を中心とする韓国・朝鮮文化の発表や交流、創作劇、テコンドー、体験談など。☎(322)4571の川崎南高校内の実行委員会事務局。

●川崎市民プラザダンスパーティ

3月9日(土)18時半より、プラザ屋内広場。出演は、東京キューバンボーイズ Jr.。入場料2500円。先着150人。チケットはプラザフロントで発売中。☎(888)3131。

●混声合唱「ハーモニーたちはな」会員募集

童謡や世界の民謡を歌っています。練習は月3回火曜10時からプラザ橋。月会費3500円。☎(788)0162の相馬さん。

（財）川崎市生涯学習振興事業団主催 **資格取得支援講座受講案内**

講座名	会場	講師	期間・曜日・時間	定員	費用	申込期間
宅地建物取引主任者	新百合21ビル	クリアールアカデミー 専任講師	4.13(土)～10.5(土) 午前	60人	46,500円	3.5(火)～15(金)
福祉住環境コーディネーター3級			4.4(木)～5.9(木) 午後	30人	23,000円	3.5(火)～15(金)
社会保険労務士答案練習			5.11(土)～7.7(日) 午後	60人	30,000円	3.26(火)～4.5(金)
国内旅行業務取扱主任者	生涯学習プラザ	LEC 専任講師	4.13(土)～8.31(土) 午前	40人	36,000円	3.5(火)～15(金)
システムアドミニストレーター初級			4.20(土)～9.21(土) 午後	40人	38,000円	3.12(火)～22(金)

★申し込み方法★ ☎、Fax、はがきで。はがき・Faxの場合は、締め切り日までに、住所、氏名、☎番号、講座名を記し、講座会場あてにお送りください。

★問い合わせ★ 新百合21ビル ☎(952)5000 Fax(952)1350 〒215-0004 麻生区万福寺1-2-2新百合21ビルB2  
生涯学習プラザ ☎(733)6626 Fax(733)6697 〒211-0064 中原区今井南町514-1生涯学習プラザ内

※定員に満たない講座は中止することもあります。詳しくはチラシをご覧ください。